

No	大分類	中分類	問題文	正解	解説
1	ビジネスインダ ストリ	ビジネスシステム	商品を販売した時点で、リアルタイムに販売情報を把握できるシステムはどれか。 1 ETC 2 NFC 3 POS 4 SFA	3	POS(Point of Sales: 販売時点情報管理システム)は、バーコードなどを活用することで、個々の商品が売れたタイミングで、リアルタイムに販売情報が把握できるシステムのことである。 販売動向がリアルタイムに正確に把握できることで、無駄のない在庫管理や、的確な戦略分析ができる。
2	ビジネスインダ ストリ	ビジネスシステム	13桁のJANコードの中に含まれない情報はどれか。 1 企業コード 2 国コード 3 製品価格 4 チェックデジット	3	JAN(Japanese Article Number)コードは、13桁の標準コードと8桁の短縮型コードがある。 JANコードは、国を識別する国コード、製造メーカーを識別する企業コード、製造メーカー内の商品を識別する商品アイテムコード、エラーチェックに用いるチェックデジットで構成されている。
3	ビジネスインダ ストリ	ビジネスシステム	SONYのFelicaなどに利用されている、非接触型ICカードなどと無線通信を行う技術はどれか。 1 CDN 2 ETC 3 DTP 4 NFC	4	NFC(Near Field Communication)は、無線により非接触型ICカードなどと情報通信を行う技術である。 通信距離は10cm程度で、電子マネーの決済などに用いられる。 Type-A、Type-B、Type-Fなど複数の規格がある。 SONYのFelicaは、Type-Fに独自にデータ管理やセキュリティ機能を盛り込んだものである。
4	ビジネスインダ ストリ	ビジネスシステム	書籍出版物を識別する13桁のコードはどれか。(書籍出版物以外には利用されない) 1 CDN 2 DTP 3 ISBN 4 JAN	3	ISBN(International Standard Book Number: 国際標準図書番号)は、書籍出版物を識別する13桁のコードである。 978または979の接頭記号、出版社記号、書名記号、チェックデジットで構成されている。
5	ビジネスインダ ストリ	ビジネスシステム	数字だけでなく、英字や漢字が表現可能なコードはどれか。 1 CDN 2 ISBN 3 JAN 4 QRコード	4	QR(Quick Response)コードは2次元バーコードとも呼ばれ、JANコードよりも多くの情報を扱うことが可能である。 数字だけでなく、英字や漢字も扱うことができる。 近年では、スマートフォンを利用したキャッシュレス決済に利用されるケースが増えてきている。
6	ビジネスインダ ストリ	ビジネスシステム	無線チップにより、商品などを識別する技術はどれか。 1 GIS 2 GPS 3 POS 4 RFID	4	RFID(Radio Frequency IDentification)は、商品などに取り付けたタグと無線通信を行うことで、商品などを識別する技術である。 RFIDタグが高価であることから実用化が先送りになっていたが、近年ではRFIDタグ1枚あたりの価格が10円程度まで下がったことから、実用化されるケースが増えてきている。

7	ビジネスインダストリ	ビジネスシステム	人工衛星から発信される情報を利用して、現在地の情報を得るものはどれか。 1 ETC 2 GIS 3 GPS 4 SFA	3	GPS(Global Positioning System: 全地球測位システム)は、衛星から発信される情報を利用して受信者とGPSの衛星の位置関係を測定し、現在地の緯度・経度を計算するシステムである。 カーナビや携帯電話の地図アプリなどで利用される。
8	ビジネスインダストリ	ビジネスシステム	位置に関する情報を持ったデータを総合的に管理・加工し、高度な分析や迅速な判断を可能にする技術はどれか。 1 GIS 2 GPS 3 NFC 4 POS	1	GIS(Geographic Information System: 地理情報システム)は、地理的位置を手がかりに、位置に関する情報を持ったデータ(空間データ)を総合的に管理・加工し、視覚的に表示し、高度な分析や迅速な判断を可能にする技術である。 地域における自然、災害、社会経済活動など特定のテーマについての状況を表現する土地利用図、ハザードマップ等の多様な情報に利用される。
9	ビジネスインダストリ	ビジネスシステム	有料道路の料金支払いを自動化するシステムはどれか。 1 ETC 2 GIS 3 GPS 4 SFA	1	ETC(Electronic Toll Collection System: 電子料金収受システム)は、有料道路の料金支払いを、クレジットカード会社が発行するICカードをETC車載器に差し込んでおくことで、料金所で停車することなく支払うシステムのことである。
10	ビジネスインダストリ	ビジネスシステム	磁気カードとICカードを比較した場合の、ICカードの特徴として適切なものはどれか。 1 暗号を使った認証ができる 2 価格が安い 3 偽造が容易 4 記録できる情報量が少ない	1	磁気カードと比較した場合のICカードの特徴として、次のようなことが挙げられる。 ・暗号を使った認証が可能 ・価格が高い ・偽造が困難 ・記録できる情報量が多い
11	ビジネスインダストリ	ビジネスシステム	印刷物を制作する際の、版下の作成や製版をパソコン上で行うものはどれか。 1 CDN 2 DTP 3 POS 4 SFA	2	DTP(DeskTop Publishing: 机上出版、卓上出版)は、印刷物のデザインの割り付けをパソコン上で行うことである。 DTPオペレータは、デザイナーが作成したデータをもとに、修正や加工をして、印刷できるデータを作成する人のことを指す。
12	ビジネスインダストリ	ビジネスシステム	営業活動をシステムで支援するものはどれか。 1 ETC 2 GIS 3 SCM 4 SFA	4	SFA(Sales Force Automation: 営業支援システム)は、コンピュータなどを利用して営業活動を支援するための考え方、またはそれを実現するシステムのことである。 顧客との商談履歴を管理するコンタクトマネジメント機能や、営業テクニックのノウハウを共有する機能などがある。
13	ビジネスインダストリ	ビジネスシステム	大容量のコンテンツを、効率良く配信する技術はどれか。 1 CDN 2 ETC 3 GIS 4 SFA	1	CDN(Contents Delivery Network)は、画像や動画、プログラムなどの大容量コンテンツを効率よく配信する仕組みのことである。 コンテンツにアクセスするユーザに最も近いサーバやアクセスポイントを介してコンテンツを配信するなどの仕組みがある。

14	ビジネスインダ ストリ	ビジネスシステム	物流において、製品が提供されるまでの経路を追跡できる仕組みはどれか。 1 クラウドファンディング 2 スマートグリッド 3 トレーサビリティ 4 ユニバーサルデザイン	3	トレーサビリティは、物流において、製品がどのような経路を経て利用者に届いたかを追跡できる仕組みのことである。 バーコードやICタグなどを利用して、流通の経路の途中で、「いつ、どこを通過した」という履歴を記録することで実現する。
15	ビジネスインダ ストリ	ビジネスシステム	電力の需要と供給を自律的に調整できる電力ネットワークはどれか。 1 クラウドソーシング 2 クラウドファンディング 3 スマートグリッド 4 トレーサビリティ	3	スマートグリッドは、電力の供給側と需要側間で情報通信網を整備し、電力に関する様々な情報をやりとりすることで、自律的に電力供給を調整できる電力ネットワークのことである。 スマートグリッドを利用することで、電力会社は無駄な発電を抑えることができる。
16	ビジネスインダ ストリ	ビジネスシステム	インターネットなどを活用し、事業に賛同した不特定多数から資金調達をする仕組みはどれか。 1 クラウドコンピューティング 2 クラウドソーシング 3 クラウドファンディング 4 グリーンIT	3	クラウドファンディングは、群衆(Crowd)と資金調達(Funding)を組み合わせた造語である。 インターネットを通して自分の活動や夢を発信することで、想いに共感した人や活動を応援したいと思ってくれる不特定多数の人から資金を募る仕組みのことである。
17	ビジネスインダ ストリ	ビジネスシステム	人間の神経細胞の情報伝達を模したものはどれか。 1 クラウドソーシング 2 クラウドファンディング 3 トレーサビリティ 4 ニューラルネットワーク	4	ニューラルネットワーク(Neural Network)は、人間の神経細胞(ニューロン)が構築している神経伝達ネットワークの仕組みを模倣し、単純化したものをコンピュータで表現したもののことである。
18	ビジネスインダ ストリ	ビジネスシステム	どのような業種の企業においても共通で必要となる、業務に必要な機能をパッケージ化したものはどれか。 1 オペレーティングシステム 2 業種別ソフトウェアパッケージ 3 業務別ソフトウェアパッケージ 4 ミドルウェア	3	業務別ソフトウェアパッケージは、どのような業種の企業においても共通で必要となる、業務に必要な機能をパッケージ化したものである。 会計、営業支援、販売管理などに利用される。
19	ビジネスインダ ストリ	ビジネスシステム	金融、医療、製造、運輸などの業種ごとに利用されるソフトウェアパッケージはどれか。 1 オペレーティングシステム 2 業種別ソフトウェアパッケージ 3 業務別ソフトウェアパッケージ	2	業種別ソフトウェアパッケージは、業務別ソフトウェアパッケージでは対応できない、業種ごとに異なる対応が必要となる処理をパッケージ化したものである。 金融、医療、製造、運輸などの業種ごとに利用される。

20	ビジネスインダストリ	ビジネスシステム	部門ごとに管理されていたシステムを統合し、情報を一元的に管理するソフトウェアはどれか。 1 CAD 2 CAM 3 DTP 4 ERP	4	ERP(Enterprise Resource Planning: 企業資源計画)は、生産や販売、会計といった部門ごとに管理されていたシステムを統合し、企業の全活動における資源を統合的、一元的に管理するソフトウェアである。
21	ビジネスインダストリ	ビジネスシステム	人間の脳の機能を分析し、脳の機能を人工的に実現するものはどれか。 1 AI 2 FA 3 OA 4 CIM	1	AI(Artificial Intelligence: 人工知能)は、人間の脳の機能を分析して、脳の機能を人工的に実現するものである。 記憶や学習、推測や判断など、人間の脳がしていることをコンピュータにより実現する。
22	ビジネスインダストリ	ビジネスシステム	住民票を有する全ての国民に1人1つの番号を付与して、行政の効率化、国民の利便性を高める制度はどれか。 1 基礎年金番号 2 パスポート番号 3 保険者番号 4 マイナンバー	4	マイナンバーは、日本に住民票を有するすべての国民が持つ12桁の番号である。 社会保障、税、災害対策の3分野について、分野横断的な共通の番号を導入することで、個人の特定を確実かつ迅速に行うことが可能となる。
23	ビジネスインダストリ	ビジネスシステム	インターネット上で行う入札はどれか。 1 電子申請・届出システム 2 電子署名 3 電子透かし 4 電子入札	4	電子入札は、インターネット上で行われる入札制度のことである。 電子的に入札することで、経費を削減でき、談合の機会を減少させる効果がある。
24	ビジネスインダストリ	ビジネスシステム	インターネットを利用して、行政機関に対しての申請や届け出を受け付けるものはどれか。 1 電子申請・届出システム 2 電子署名 3 電子透かし	1	電子申請・届出システムは、インターネットを利用して行政機関に対しての申請や届け出を受け付けるシステムのことであり、24時間いつでも手続きを行うことができる。 住民票の写し、戸籍の附表の写し、印鑑登録証明書の交付請求などができる。
25	ビジネスインダストリ	エンジニアリングシステム	コンピュータやスマートフォン、自動車などの製品の設計図面を作成するソフトウェアはどれか。 1 CAD 2 CAM 3 CIM 4 CDN	1	CAD(Computer Aided Design: コンピュータ支援設計)は、コンピュータやスマートフォン、自動車、建築物、電子回路などの製品の設計図面を作成するソフトウェアのことである。 2次元図面を作成する2D-CADと、3次元モデルを作成できる3D-CADがある。

26	ビジネスインダストリ	エンジニアリングシステム	<p>設計図面を作成するソフトウェアで作成された図面データを元に、工作機械を操作するための加工プログラムを作成するソフトウェアはどれか。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 CAD</li> <li>2 CAM</li> <li>3 CIM</li> <li>4 CDN</li> </ol>	2	<p>CAM(Computer Aided Manufacturing: コンピュータ支援製造)は、CADなどのシステムで作成された設計図面を元に、工作機械を操作するための加工プログラムを作成するソフトウェアのことである。</p> <p>CAMで作成したプログラムで実際に動作する工作機械のことを、「NC工作機械」と呼ぶ。1万分の1ミリのオーダーに対応した高精度の機械も登場しており、電子機器などの精密加工に用いられている。</p>
27	ビジネスインダストリ	エンジニアリングシステム	<p>製造業における製造全般や技術、生産に関する情報をコンピュータシステム上で統一管理する仕組みはどれか。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 CAD</li> <li>2 CAM</li> <li>3 CIM</li> <li>4 CDN</li> </ol>	3	<p>CIM(Computer Integrated Manufacturing: コンピュータ統合生産システム)は、CADやCAMのデータ、機械制御のデータを統合管理して部門間共有し、納期短縮や在庫削減をかなえる仕組みのことである。</p> <p>以前のCIMは製造と販売の情報共有が目的のシステムであった、近年は調達や流通といった部分にまで範囲が拡大し、間接部門全体の連携を目指したシステムとなってきている。</p>
28	ビジネスインダストリ	エンジニアリングシステム	<p>業務を同時並行的に処理することで、開発プロセスをできるだけ短期化する開発手法はどれか。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 コンカレントエンジニアリング</li> <li>2 シミュレーション</li> <li>3 ジャストインタイム</li> <li>4 フレキシブル生産システム</li> </ol>	1	<p>コンカレントエンジニアリングは、設計から製造にいたるさまざまな業務を同時並行的に処理することで、量産までの開発プロセスをできるだけ短期化する開発手法のことである。</p> <p>実現にあたっては、情報共有のインフラだけではなく新業務プロセスの再設計、技術者の能力向上など多面的な活動が必要になる。</p>
29	ビジネスインダストリ	エンジニアリングシステム	<p>「必要なものを、必要なときに、必要なだけ」供給するための生産計画はどれか。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 EDI</li> <li>2 FMS</li> <li>3 JIT</li> <li>4 RPA</li> </ol>	3	<p>JIT(Just In Time: ジャストインタイム)は、「必要なものを、必要なときに、必要なだけ」供給するための生産計画のことである。</p> <p>トヨタ自動車が編み出した効率化の仕組みで、「無駄がなくなる」、「生産性が高まる」、「短時間で大量生産できる」、「より少ないコストで生産できる」といったことが実現できる。</p>
30	ビジネスインダストリ	エンジニアリングシステム	<p>資材の調達において、余剰や不足を発生させない、適切な量の発注を、生産計画に基づいて行うものはどれか。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 EDI</li> <li>2 FMS</li> <li>3 MRP</li> <li>4 RPA</li> </ol>	3	<p>MRP(Material Requirement Planning: 資材所要量計画)は、資材の調達において余剰や不足を発生させない適切な量の発注を、生産計画に基づいて行うことである。</p> <p>製品の生産計画に合わせて必要な部品や原材料の所要量を計算し、製品の生産日程に間に合うように部品や原材料の生産計画や調達日程を作成する。</p>
31	ビジネスインダストリ	エンジニアリングシステム	<p>生産ラインに柔軟性を持たせ、ひとつの生産ラインで多種類の製品を生産する方式はどれか。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 EDI</li> <li>2 FMS</li> <li>3 MRP</li> <li>4 RPA</li> </ol>	2	<p>FMS(Flexible Manufacturing System: フレキシブル生産システム)は、消費者のニーズの変化に対応するために、生産ラインに柔軟性を持たせ、ひとつの生産ラインで多種類の製品を生産する方式のことである。</p> <p>加工や搬送、組み立てや検査など、製造・物流現場のあらゆる作業で活用され、多品種少量生産に適している。</p>

32	ビジネスインダストリ	エンジニアリングシステム	<p>模型や現実に近付けたモデルなどを、コンピュータ上で模擬的に動かすものはどれか。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 PERT</li> <li>2 RFM分析</li> <li>3 シミュレーション</li> </ol>	3	<p>シミュレーションは、模型や現実に近付けたモデルなどをコンピュータ上で模擬的に動かすことで、製品の性能・機能やそのモデルの変化を評価する方法である。</p> <p>地震が発生した場合の津波の被害想定など、現実のシステムを動かしてその挙動や結果を確かめることが極めて困難、不可能、または危険である場合に用いられる。</p>
33	ビジネスインダストリ	エンジニアリングシステム	<p>マサチューセッツ工科大学でJITを体系化・一般化したものはどれか。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 PERT</li> <li>2 シミュレーション</li> <li>3 センシング技術</li> <li>4 リーン生産方式</li> </ol>	4	<p>リーン生産方式は、米国マサチューセッツ工科大学が、JITをベースに体系化・一般化した生産管理手法のことである。</p> <p>「リーン」は英語で「痩せた、筋肉質の」という意味があり、生産工程に潜む無駄を徹底的に取り除くことを重視している。</p>
34	ビジネスインダストリ	エンジニアリングシステム	<p>ベルトコンベアなどの専用ラインを設置し、複数の担当者が自分の担当の部品を組み付ける生産方式はどれか。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 BTO</li> <li>2 MRP</li> <li>3 セル生産方式</li> <li>4 ライン生産方式</li> </ol>	4	<p>ライン生産方式は、ベルトコンベアなどの専用ラインを設置し、複数の担当者が自分の担当の部品を組み付ける生産方式である。</p> <p>同じ製品を大量生産する場合に生産性が高い方式である。</p>
35	ビジネスインダストリ	エンジニアリングシステム	<p>1人から数人の作業員が、1つの作業台を囲んで、製品の組み立てから検査までの全ての作業を行う生産方式はどれか。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 BTO</li> <li>2 MRP</li> <li>3 セル生産方式</li> <li>4 ライン生産方式</li> </ol>	3	<p>セル生産方式は、1人から数人の作業員がセルと呼ばれる作業台を囲み、製品の組み立てから検査までの生産の全工程の作業を行う生産方式である。</p> <p>セル内での作業を変更するだけで、容易に製造する製品の変更ができるため、多品種少量生産に適している。</p>
36	ビジネスインダストリ	エンジニアリングシステム	<p>顧客からの注文を受けてから、製品を製造する生産方式はどれか。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 BTO</li> <li>2 MRP</li> <li>3 セル生産方式</li> <li>4 ライン生産方式</li> </ol>	1	<p>BTO(Build To Order: 受注生産方式)は、製品を部品の形で保管しておき、顧客からの注文を受けてから製品を製造する生産方式である。</p> <p>CPUやメモリ、ハードディスクの種類などを選択して注文できるPCの直販製品の製造などに利用される。</p>
37	ビジネスインダストリ	e-ビジネス	<p>大手の狙わない、売り上げの少ない多数の商品を販売することで、大手との消耗戦を回避する考え方はどれか。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 オークション</li> <li>2 クリック&amp;モルタル</li> <li>3 レッドオーシャン</li> <li>4 ロングテール</li> </ol>	4	<p>ロングテールは、大手の狙わない売り上げの少ない多数の商品を販売することで、大手との消耗戦を回避する考え方のことである。</p> <p>メーカー直送などの手段を取ることで在庫を保有せずに販売が可能なネット通販と、相性の良い戦略である。</p>

38	ビジネスインダ ストリ	e-ビジネス	インターネット上のオンライン店舗と現実に存在する店舗・物流システムを組み合わせ、相乗効果を図るビジネス手法はどれか。 1 オークション 2 クリック&モルタル 3 レッドオーシャン	2	クリック&モルタルは、インターネット上のオンライン店舗と現実に存在する店舗・物流システムを組み合わせ、相乗効果を図るビジネス手法のことである。 実店舗とインターネットのどちらでも販売や情報提供を行うマルチチャネル化や、商品の予約や注文はインターネットを通じて行い、商品の受け渡しや代金の支払いは店舗へ誘導するといったやり方などが該当する。
39	ビジネスインダ ストリ	e-ビジネス	売り上げや件数などの項目別に集計したデータを、数値の大きい順に並べた棒グラフと、数値の累積比率を表す折れ線グラフを合わせた複合グラフはどれか。 1 管理図 2 特性要因図 3 パレート図 4 ヒストグラム	3	パレート図は、売り上げや件数などの項目別に集計したデータを、数値の大きい順に並べた棒グラフと、数値の累積比率を表す折れ線グラフを合わせた複合グラフである。 商品別の売り上げ金額を示すパレート図を作成することで、売り上げが上位のヒット商品やロングテールの商品を識別できる。
40	ビジネスインダ ストリ	e-ビジネス	パレート図を利用し、累積売上高割合が多いものを重点的に管理が必要な商品として分類するものはどれか。 1 ABC分析 2 SWOT分析 3 層別 4 要求分析	1	ABC分析は、商品を売上高などの重要度によって分類する方法で、重点分析などと呼ばれることもある。 売上高の順に取扱商品を並べたパレート図を作成し、累積売上高割合が70%を占める商品グループをA、70%~90%の商品グループをB、90%~100%の商品グループをCといったグループ分けを行い、グループAを重点管理が必要な商品として扱う。
41	ビジネスインダ ストリ	e-ビジネス	企業間で、電子化したデータを利用することで情報のやりとりを効率化するものはどれか。 1 EC 2 EDI 3 ICT	2	EDI(Electronic Data Interchange: 電子データ交換)は、ネットワークを利用して、企業間における商取引のための電子データを交換する仕組みのことである。 交換される電子データの書式やネットワークの接続方法が、業界・業種ごとに異なる場合が多く、XMLを利用する標準化が進められている。
42	ビジネスインダ ストリ	e-ビジネス	インターネット上と現実世界のやりとりを示すものはどれか。 1 BtoC 2 DtoC 3 MtoM 4 OtoO	4	OtoO(Online to Offline)は、インターネット上と現実世界のやり取りを示すものである。 SNSで接点を持った顧客が実店舗に来店したり、携帯サイトで発行される割引クーポンなどにより実店舗での購入を誘導するような方法がある。
43	ビジネスインダ ストリ	e-ビジネス	製造メーカーと消費者の直接の取引を示すものはどれか。 1 BtoC 2 DtoC 3 MtoM 4 OtoO	2	DtoC(Direct to Consumer)は、製造メーカーと消費者が直接やり取りすることである。 卸売業者や小売店を通さないことで、製造メーカーが収益率を増大できるだけでなく、消費者の動向を製造メーカーが直接把握できるメリットがある。

44	ビジネスインダ ストリ	e-ビジネス	機械と機械が直接やりとりを行うものはど れか。 1 BtoC 2 DtoC 3 MtoM 4 OtoO	3	MtoM(Machine to Machine)は、人間を介することなく、機械と機械が直接 やり取りを行うことである。 渋滞情報システムであるVICSとカーナビが直接やり取りを行うことで、渋 滞を加味した到着時間予測や、渋滞を回避するルートの提案を行うなど の使い方がある。
45	ビジネスインダ ストリ	e-ビジネス	企業と消費者との取引を示すものはどれ か。 1 BtoC 2 DtoC 3 MtoM	1	BtoC(Business to Consumer)は、企業と消費者の間の取引のことである。 小売店での販売、ショッピングサイトなどが該当する。
46	ビジネスインダ ストリ	e-ビジネス	企業間の受発注システムが該当する形態 はどれか。 1 BtoB 2 BtoE 3 CtoC 4 GtoC	1	BtoB(Business to Business)は、企業と企業の取引のことである。 企業間の受発注システムや電子マーケットプレイスなどが該当する。
47	ビジネスインダ ストリ	e-ビジネス	企業内での社員割引販売が該当する形態 はどれか。 1 BtoB 2 BtoE 3 CtoC 4 GtoC	2	BtoE(Business to Employee)は、企業と従業員の取引のことである。 社員割引販売や、会社の所有施設の優待利用などがある。
48	ビジネスインダ ストリ	e-ビジネス	インターネットオークションが該当する形態 はどれか。 1 BtoB 2 BtoE 3 CtoC 4 GtoC	3	CtoC(Consumer to Consumer)は、消費者と消費者の取引のことである。 インターネットオークションやフリーマーケットなどがある。
49	ビジネスインダ ストリ	e-ビジネス	電子申請・届出システムシステムが該当す る形態はどれか。 1 BtoB 2 BtoE 3 CtoC 4 GtoC	4	GtoC(Government to Consumer)は、行政機関と個人の取引のことであ る。 電子申請・届出システムなどがある。
50	ビジネスインダ ストリ	e-ビジネス	金融とICTを結び付けた取り組みやサービ スはどれか。 1 AdTech 2 AgriTech 3 EdTech 4 FinTech	4	FinTechは、金融を意味する「Finance」と、技術を意味する「Technology」 を組み合わせた造語である。 スマートフォンを利用した送金サービスや、AIを活用した資金運用サービ スなどがある。



51	ビジネスインダ ストリ	e-ビジネス	<p>広告とICTを結び付けた取り組みやサービスはどれか。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 AdTech</li> <li>2 AgriTech</li> <li>3 EdTech</li> <li>4 FinTech</li> </ol>	1	AdTechは、広告を意味する「Advertising」と、技術を意味する「Technology」を組み合わせた造語である。リスティング広告やディスプレイ広告などがある。
52	ビジネスインダ ストリ	e-ビジネス	<p>教育とICTを結び付けた取り組みやサービスはどれか。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 AdTech</li> <li>2 AgriTech</li> <li>3 EdTech</li> <li>4 FinTech</li> </ol>	3	EdTechは、教育を意味する「Education」と、技術を意味する「Technology」を組み合わせた造語である。E-Learningや校内コミュニティサイトなどがある。
53	ビジネスインダ ストリ	e-ビジネス	<p>インターネット上に設けられる企業間電子商取引市場はどれか。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 インターネットバンキング</li> <li>2 エスクローサービス</li> <li>3 クラウドファンディング</li> <li>4 電子マーケットプレイス</li> </ol>	4	電子マーケットプレイスは、インターネット上に設けられる企業間電子商取引市場のことである。買い手企業が調達先を探して費用対効果の高い電子調達を実現したり、売り手企業が販売機会を拡大する目的で参加する。
54	ビジネスインダ ストリ	e-ビジネス	<p>インターネット上に構築された仮想商店街はどれか。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 インターネットバンキング</li> <li>2 エスクローサービス</li> <li>3 オンラインモール</li> <li>4 クラウドファンディング</li> </ol>	3	オンラインモールは、インターネット上に構築された仮想商店街のことである。楽天やアマゾンのように、多数の商店が集まって構築されている。
55	ビジネスインダ ストリ	e-ビジネス	<p>インターネット上で、売りたい商品と販売条件を提示し、買い手が購入価格を提示し、最も高い購入価格を提示した買い手が購入する仕組みはどれか。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 インターネットトレーディング</li> <li>2 インターネットバンキング</li> <li>3 エスクローサービス</li> <li>4 電子オークション</li> </ol>	4	電子オークション(インターネットオークション)は、インターネット上で、売りたい商品と販売条件を提示し、複数の買い手が自分の購入できる価格を提示し、最も高い購入価格を提示した買い手が購入する仕組みのことである。買い手が買いたい商品と購入条件を提示し、複数の売り手が販売条件を提示する形態の逆オークションもある。
56	ビジネスインダ ストリ	e-ビジネス	<p>インターネットを經由して銀行取引を行うものはどれか。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 インターネットトレーディング</li> <li>2 インターネットバンキング</li> <li>3 エスクローサービス</li> <li>4 電子オークション</li> </ol>	2	インターネットバンキングは、インターネットを經由して銀行取引を行うことである。銀行窓口に出向く必要がなく、一部のメンテナンス時間を除けば、ほぼ24時間365日いつでも銀行取引ができるだけでなく、人手を介さないため銀行窓口を利用するよりも手数料が安価な場合が多い。

57	ビジネスインダストリ	e-ビジネス	インターネットを經由して株取引を行うものはどれか。 1 インターネットトレーディング 2 インターネットバンキング 3 エスクローサービス 4 電子オークション	1	インターネットトレーディングは、インターネットを經由して株取引を行うことである。 取引に関する手続きのほとんどを証券会社などが専用に設けたWebサイトから行うため、電話での取引や窓口に出向いて行う取引よりも、迅速で手数料が安い。
58	ビジネスインダストリ	e-ビジネス	物品などを売買する際に、売り手と買い手の間に第三者の業者が入り、取引の安全性を保障するサービスはどれか。 1 インターネットトレーディング 2 インターネットバンキング 3 エスクローサービス 4 電子オークション	3	エスクローサービスは、物品などを売買する際に取引の安全性を保障する仲介サービスである。 売買の当事者以外の第三者が決済を仲介し、代金を一時的に預かり、入金を確認した時点で商品の発送を依頼する。その後、購入者が商品を受け取ったことを確認した時点で、販売者に代金を支払う。
59	ビジネスインダストリ	e-ビジネス	インターネットの検索エンジンの検索結果において、自社のホームページの表示順位を、より上位にしようとするための技法や手法の総称はどれか。 1 DNS 2 RSS 3 SEO 4 SNS	3	SEO(Search Engine Optimization)は、「検索エンジン最適化」とも呼ばれ、Webサイトを制作する際に、Googleなどの検索エンジンの検索でより上位に表示されるようにページやサイト全体を最適化すること、またはそのための技術や工夫のことである。
60	ビジネスインダストリ	e-ビジネス	ビルの壁面や店頭などに設置されたディスプレイを使って情報を発信する広告手法はどれか。 1 アフィリエイト 2 デジタルサイネージ 3 バナー広告 4 リスティング広告	2	デジタルサイネージは、ビルの壁面や店頭などに設置されたディスプレイを使って情報を発信する広告手法である。 看板やポスターと異なり、内容を頻繁に更新できるため、季節に合わせた広告やイベント広告が容易である。
61	ビジネスインダストリ	e-ビジネス	ブログやホームページなどにWebサイトへのリンクを掲載し、閲覧者を誘導した実績に応じた報酬を得る広告手法はどれか。 1 アフィリエイト 2 デジタルサイネージ 3 バナー広告 4 リスティング広告	1	アフィリエイトは、ブログやホームページ、メールマガジンなどに企業の広告やWebサイトへのリンクを掲載し、閲覧者を誘導する広告手法である。 閲覧者を誘導した回数や商品の購入実績に応じて、報酬を得ることができる。
62	ビジネスインダストリ	e-ビジネス	ブログやホームページなどに、広告画像を掲載する広告手法はどれか。 1 アフィリエイト 2 デジタルサイネージ 3 バナー広告 4 リスティング広告	3	バナー広告は、ブログやホームページの運営者に対価を払い、ページ上にバナーと呼ばれる広告画像を掲載する広告手法である。 閲覧者がバナーをクリックすると、広告主のページにジャンプするようになっている。

63	ビジネスインダ ストリ	e-ビジネス	検索エンジンでの検索キーワードに関連の深い広告を、検索結果画面に表示する広告手法はどれか。 1 アフィリエイト 2 デジタルサイネージ 3 バナー広告 4 リスティング広告	4	リスティング広告は、検索エンジンで検索を行った際に、検索キーワードに関連の深い広告を表示する広告手法である。 どのようなキーワードでの検索に対して広告を掲載するかは、広告主が設定できる。 検索連動型広告ともいう。
64	ビジネスインダ ストリ	e-ビジネス	顧客の過去の購入履歴などから、顧客が興味を持ちそうな商品やサービスの広告を表示する広告手法はどれか。 1 アフィリエイト 2 バナー広告 3 リスティング広告 4 レコメンデーション	4	レコメンデーションは、顧客の過去の購入履歴などから顧客の好みを分析し、興味を持ちそうな商品やサービスの広告を表示する広告手法である。 購入した商品だけでなく、検索した商品や閲覧した商品の履歴を利用している場合もある。
65	ビジネスインダ ストリ	e-ビジネス	あらかじめメールの受信者に対して許可を得て、広告メールを送信する手法はどれか。 1 オプトアウトメール広告 2 オプトインメール広告 3 スпамメール	2	オプトインメール広告は、あらかじめメールの受信者に対して、広告メールの送信に対する許可を得たうえで、広告メールを送信する手法である。 現在、日本国内では、特定電子メール方により広告メールの受信者に対して事前に許可を得ることが義務付けられている。
66	ビジネスインダ ストリ	e-ビジネス	広告メールの受信者が受信を拒否しない限り、許可なく広告メールの送信をする手法はどれか。 1 オプトアウトメール広告 2 オプトインメール広告 3 スпамメール 4 メール爆弾	1	オプトアウトメール広告は、事前に広告メールの受信を許可するかどうかの確認を行わず、一方的に広告メールを送り、受信者が受信拒否をした場合にだけ広告メールの送信を停止する手法である。 現在日本国内では、特定電子メール方によりオプトアウトメール広告は認められていない。
67	ビジネスインダ ストリ	e-ビジネス	商品購入時に、代金が金融機関の口座から即時引き落とされるものはどれか。 1 クレジットカード 2 デビットカード 3 電子マネー 4 プリペイドカード	2	デビットカード(Debit Card)は、銀行が発行しているキャッシュカードの一種で、銀行口座からリアルタイムに代金を直接引き落としとして決済ができる。 クレジットカードと異なり、口座残高内でしか支払ができないので支払能力以上の決済をしてしまう心配がない。
68	ビジネスインダ ストリ	e-ビジネス	商品購入やサービス利用時に提示することによって代金決済ができる、後払い方式のカードはどれか。 1 クレジットカード 2 デビットカード 3 電子マネー 4 プリペイドカード	1	クレジットカードは、商品購入やサービス利用時に提示することによって代金決済ができる、後払い方式のカードである。 クレジットカード会社の審査によって、支払い限度額などの条件が設定され、消費者は契約した条件の範囲内で商品の購入ができる。 即時決済でないため、口座に残金がなくても購入できるメリットがあるが、支払い能力以上の決済をしてしまう心配がある。

69	ビジネスインダ ストリ	e-ビジネス	ブロックチェーン技術を基盤として開発され た、物理的な実体のない通貨はどれか。 1 仮想通貨 2 クレジットカード 3 デビットカード 4 プリペイドカード	1	仮想通貨は、ブロックチェーンという分散型台帳技術を基盤にして開発され た、物理的な実体のないデジタル通貨のことである。 暗号化やハッシュなどの暗号理論を利用しているため、「暗号通貨」と呼 ばれる場合もある。 インターネットの取引所を通じて他者および法定通貨と交換でき、決済手 段として利用できる場合もある。
70	ビジネスインダ ストリ	IoTシステム・組み 込み システム	情報端末ではない電子機器や機械類な ど、あらゆるモノをインターネットに接続す る技術はどれか。 1 AI 2 Bluetooth 3 GPS 4 IoT	4	IoT(Internet of Things:モノのインターネット)は、情報端末ではない電子 機器や機械類などの「モノ」に、通信機能やセンサ機能を持たせる技術で ある。 収集した情報を処理したり蓄積したりすることで、監視、制御、最適化、自 律化などの新たな付加価値を生み出すことができる。
71	ビジネスインダ ストリ	IoTシステム・組み 込み システム	センサを使って、制御対象の状態を検出す る技術はどれか。 1 AI 2 AR 3 センシング 4 ドローン	3	センシングは、センサを使って制御対象の状態を検出する技術である。 制御対象の明るさや温度、湿度、圧力などの様々な状態をセンサで検知 して、コンピュータで処理できる情報に変換する。
72	ビジネスインダ ストリ	IoTシステム・組み 込み システム	乗務員を乗せずに、遠隔操作や自律制御 によって飛行する航空機はどれか。 1 AI 2 AR 3 センシング 4 ドローン	4	ドローンは、乗務員を乗せずに、遠隔操作や自律制御によって飛行する 航空機のことである。 小型のドローンは人が容易に立ち入れない場所にも飛んで行けるため、 空撮システムなどとして広く用いられている。
73	ビジネスインダ ストリ	IoTシステム・組み 込み システム	インターネットや各種無線などを通じて、 様々なモノや人と、情報を双方向で送受信 できる自動車はどれか。 1 組み込みシステム 2 コネクテッドカー 3 スマートファクトリー 4 ドローン	2	コネクテッドカーは、インターネットや各種無線などを通じて、様々なモノや 人と、情報を双方向で送受信できる自動車のことである。 自動車と別の自動車との間で直接通信する「車車間通信」により、渋滞情 報の取得や衝突回避などの運転支援ができるようになる等の利用ができ る。
74	ビジネスインダ ストリ	IoTシステム・組み 込み システム	乗り物の運転・操縦を人間が行わず、コン ピュータシステムが行うものはどれか。 1 組み込みシステム 2 自動運転 3 スマートファクトリー 4 ドローン	2	自動運転は、乗り物の運転・操縦を人間が行わず、コンピュータシステム が行うことである。 オートパイロットとも呼ぶ。 航空機や船舶の自動運転技術が先行していたが、近年では自動車の自 動運転技術が実用化されつつある。

75	ビジネスインダストリ	IoTシステム・組み込みシステム	特定の装置に内蔵され、内蔵された装置で特定の機能を実現するものはどれか。 1 組み込みシステム 2 自動運転 3 スマートファクトリー 4 ドローン	1	組み込みシステムは、特定の装置に組み込まれ、組み込まれた装置で特定の機能を実現するシステムである。「エンベデッドシステム」ともいう。組み込む機器が持つCPUやメモリなどの必要最低限のリソースで、安定して高速に動作することが求められる。
76	ビジネスインダストリ	IoTシステム・組み込みシステム	組み込みシステムを利用する機器のうち、家庭内で使われる機器を示すものはどれか。 1 産業機器 2 スマートファクトリー 3 ドローン 4 民生機器	4	民生機器は、組み込みシステムを利用する機器のうち、家庭内で使われる機器のことである。炊飯器、洗濯機、エアコンなどがある。
77	ビジネスインダストリ	IoTシステム・組み込みシステム	組み込みシステムを利用する機器のうち、事業で使われる機器を示すものはどれか。 1 産業機器 2 スマートファクトリー 3 ドローン 4 民生機器	1	産業機器は、組み込みシステムを利用する機器のうち、事業で使われる機器のことである。信号機、エレベータ、自動販売機、銀行のATMなどがある。
78	ビジネスインダストリ	IoTシステム・組み込みシステム	自律的に最適な運営ができる工場はどれか。 1 産業機器 2 スマートファクトリー 3 ドローン	2	スマートファクトリーは、工場内のあらゆるモノが繋がり、自律的に最適な運営ができる工場のことである。IoTを利用して情報を取り込み、AIで処理することで最適な生産・運営を実現する。
79	ビジネスインダストリ	IoTシステム・組み込みシステム	外部の情報を知覚するセンサ、収集した情報を分析して判断する知能・制御系、外部に対し何らかの操作を行う駆動系の3つの機能を有する機械システムはどれか。 1 クラウドサービス 2 産業機器 3 民生機器 4 ロボット	4	ロボットは、外部の情報を知覚するセンサ、収集した情報を分析して判断する知能・制御系、外部に対し何らかの操作を行う駆動系の3つの機能を有する機械システムである。製造業の工業用ロボットだけでなく、介護用ロボット等、非常に幅広い分野で利用されている。
80	ビジネスインダストリ	IoTシステム・組み込みシステム	ケーブルの接続を必要とせず、電力供給できる技術みはどれか。 1 Bluetooth 2 USB 3 クラウドコンピューティング 4 ワイヤレス給電	4	ワイヤレス給電は、ケーブルの接続を必要とせず、電子機器などを無線で給電できる技術のことである。機器ごとの専用規格のほか、汎用的に使える国際標準規格「Qi」に準拠したものもある。
81	ビジネスインダストリ	IoTシステム・組み込みシステム	ロボットに関連する分野の学問はどれか。 1 クラウドコンピューティング 2 スマートファクトリー 3 ファームウェア 4 ロボティクス	4	ロボティクスは、ロボットに関連する分野の学問のことである。「ロボット工学」ともいう。制御機能やセンサ技術など、ロボットの設計・製作および運転に関する研究を行う。

82	ビジネスインダ ストリ	IoTシステム・組み 込み システム	機器を制御するためにハードウェアに組み 込まれたソフトウェアはどれか。 1 クラウドコンピューティング 2 スマートファクトリー 3 ファームウェア 4 ロボティクス	3	ファームウェアは、機器を制御するためにハードウェアに組み込まれたソ フトウェアのことである。 「マイクロプログラム」ともいう。 ハードウェア内のROMなどに記録される。 PCのマザーボード上に組み込まれるBIOSも、ファームウェアの一種であ る。
83	ビジネスインダ ストリ	IoTシステム・組み 込み システム	人工的に本物のような感覚を作り出す技 術はどれか。 1 AI 2 IoT 3 SEO 4 VR	4	VR(Virtual Reality: 仮想現実)は、人工的に本物のような感覚を作り出す 技術のことである。 静止画像や動画像、音響効果などを組み合わせることで人間の感覚を刺 激することにより、本物のような現実感を生み出す。
84	ビジネスインダ ストリ	IoTシステム・組み 込み システム	ドイツの産業政策として提唱された、「考 える工場」といわれるものはどれか。 1 インダストリー4.0 2 クラウドコンピューティング 3 ファームウェア 4 ロボティクス	1	インダストリー4.0は、ドイツの産業政策として提唱された製造業の新たな アプローチであり、「考える工場」「第4次産業革命」とも呼ばれる。 従来の製造プロセスとIoTやAIなどのテクノロジーとを組み合わせること によって自動化し、機器同士のコミュニケーションやリアルタイムデータの利 用促進を目指すものである。
85	システム戦略	情報システム戦略	自社の内部環境と外部環境をそれぞれプ ラス要因とマイナス要因に分けて、経営環 境を分析する手法はどれか。 1 ABC分析 2 SWOT分析 3 層別 4 要求分析	2	SWOT分析は、自社の内部環境と外部環境をそれぞれプラス要因とマイ ナス要因に分けて、経営環境を分析する手法である。 S(Strengths: 強み): 内部のプラス要因 W(Weaknesses: 弱み): 内部のマイナス要因 O(Opportunities: 機会): 外部のプラス要因 T(Threats: 脅威): 外部のマイナス要因
86	システム戦略	情報システム戦略	経営環境を分析した結果、自社の人材の 持つ技術力が非常に高いことがわかった。 これは、SWOTのどの領域に該当するか。 1 O 2 S 3 T 4 W	2	自社の人材の技術力が高いという分析結果は、内部環境のプラス要因で ある。 したがって、S(Strengths: 強み)に該当する。
87	システム戦略	情報システム戦略	経営環境を分析した結果、自社の商品に 魅力が不足していることがわかった。これ は、SWOTのどの領域に該当するか。 1 O 2 S 3 T 4 W	4	自社の商品に魅力が不足しているという分析結果は、内部環境のマイナ ス要因である。 したがって、W(Weaknesses: 弱み)に該当する。

88	システム戦略	情報システム戦略	<p>経営環境を分析した結果、自社で扱っている製品が映画の中に登場し、欲しがっている人が増えていることがわかった。これは、SWOTのどの領域に該当するか。</p> <p>1 O 2 S 3 T 4 W</p>	1	<p>自社で扱っている製品が映画の中に登場し、欲しがっている人が増えているという分析結果は、外部環境のプラス要因である。したがって、O(Opportunities: 機会)に該当する。</p>
89	システム戦略	情報システム戦略	<p>経営環境を分析した結果、自社で製造を検討している製品は競合他社が既に製造を行っていることがわかった。これは、SWOTのどの領域に該当するか。</p> <p>1 O 2 S 3 T 4 W</p>	3	<p>自社で製造を検討している製品は競合他社が既に製造を行っているという分析結果は、外部環境のマイナス要因である。したがって、T(Threats: 脅威)に該当する。</p>
90	システム戦略	情報システム戦略	<p>「市場成長率」と「市場占有率」の2軸を用いて、複数の商品や事業に対して経営資源の配分や戦略の決定を行うフレームワークはどれか。</p> <p>1 ABC分析 2 PPM 3 SWOT分析 4 要求分析</p>	2	<p>PPM(Product Portfolio Management)は、「市場成長率」と「市場占有率」の2軸を用いて、複数の商品や事業に対して経営資源の配分や戦略の決定を行うフレームワークである。</p> <p>負け犬: 市場成長率が低く、市場占有率が低い 問題児: 市場成長率が高く、市場占有率が低い 花形: 市場成長率が高く、市場占有率が高い 金のなる木: 市場成長率が低く、市場占有率が高い</p>
91	システム戦略	情報システム戦略	<p>PPMで分析した結果、事業からの撤退を検討する必要があるものはどれか。</p> <p>1 金のなる木 2 花形 3 負け犬 4 問題児</p>	3	<p>負け犬は、市場成長率が低く、市場占有率が低い。現状で他社に負けており、今後の市場を増やすことが困難であることから、事業からの撤退を検討する必要がある。</p>
92	システム戦略	情報システム戦略	<p>PPMで分析した結果、積極的な追加投資を行うか、事業から撤退をするかの判断が必要なものはどれか。</p> <p>1 金のなる木 2 花形 3 負け犬 4 問題児</p>	4	<p>問題児は、市場成長率が高く、市場占有率が低い。現状では他社に負けているが、市場成長率が高いことから、積極的な追加投資を行って今後の市場占有率を向上させることができれば成功できる可能性がある。</p> <p>現状での市場占有率が低いことから資金に余裕がないため、金のなる木からの移動投資により資金不足を補う必要がある。</p>

93	システム戦略	情報システム戦略	PPMで分析した結果、大きな追加投資をせずに安定的な利益を生み出せるため、余剰金を生み出しているものはどれか。 1 金のなる木 2 花形 3 負け犬 4 問題児	1	金のなる木は、市場成長率が低く、市場占有率が高い。売上げが大きく、激しい競争がないために大きなマーケティングコストが必要ないことから、大きな利益を生み出すことができる。金のなる木が生み出した余剰金を問題児に対して投資することで、問題児の資金不足を補う。
94	システム戦略	情報システム戦略	PPMで分析した結果、売上げは大きいですが、売上げの多くを自己投資する必要があるものはどれか。 1 金のなる木 2 花形 3 負け犬 4 問題児	2	花形は、市場成長率が高く、市場占有率が高い。一見すると安泰のように見えるが、市場成長率が高いという状況は、成長するこれからの市場を奪われる可能性があるという意味でもある。売上げは大きいものの、激しい競争があるため、売上げの多くをマーケティングに自己投資する必要がある、利益が残らない。
95	システム戦略	情報システム戦略	企業内のサイトやデータを検索するためのシステムはどれか。 1 EA 2 POS 3 イノベーション 4 エンタープライズサーチ	4	エンタープライズサーチは、企業内のサイトやデータを検索するためのシステムである。社内にある膨大な情報が埋没するのを防ぎ、効率よく必要な情報を取得することができるよう、社内情報をインターネットの検索エンジン同様に検索することが出来る。
96	システム戦略	情報システム戦略	全体最適化を進め、効率よい組織を生み出すための設計手法はどれか。 1 BPO 2 BYOD 3 EA 4 SI	3	EA(Enterprise Architecture)は、資源配置や業務手順、情報システムなどの標準化、全体最適化を進め、効率よい組織を生み出すための設計手法である。企業の持つ資源の重複や偏在を廃して全体最適の観点から配分することができる。
97	システム戦略	情報システム戦略	正確に記録することを重視するシステム設計手法はどれか。 1 IoT 2 PoE 3 SoE 4 SoR	4	SoR(System of Records: 記録のシステム)は、機密情報や個人情報など重要情報を安全に管理し、それを正確に記録できる点を重視して設計されるシステムのことである。高い信頼性や安定性が求められる。
98	システム戦略	情報システム戦略	ユーザーとのつながりを重視するシステム設計手法はどれか。 1 IoT 2 PoE 3 SoE 4 SoR	3	SoE(System of Engagement: つながりのシステム)は、ユーザーとのつながりを重視して設計されるシステムのことである。実際にユーザーに活用され、ユーザーとシステムとの関係を強化することを目的としている。ユーザーとの関係は常に変化するため、一度定義したデータ構造も動的に対応する必要がある。



99	システム戦略	情報システム戦略	システム利用者が直接利用する、視覚的に見える部分のシステムはどれか。 1 キーロガー 2 クッキー 3 バックエンド 4 フロントエンド	4	フロントエンドは、システム利用者が直接利用する、視覚的に見える部分のシステムのことである。 PC、スマートフォン、タブレットなど様々なサイズの電子機器に合わせたサイズ設定や、使いやすいデザイン性が求められる。
100	システム戦略	情報システム戦略	システム利用者からは見えない部分のシステムはどれか。 1 キーロガー 2 クッキー 3 バックエンド 4 フロントエンド	3	バックエンドは、システム利用者からは見えない部分のシステムのことである。 データ処理や保存など、主にサーバ側で動作するシステムで、高い信頼性と安定性が求められる。
101	システム戦略	情報システム戦略	現状とあるべき姿を比較することで、課題を明らかにする分析手法はどれか。 1 ABC分析 2 SWOT分析 3 回帰分析 4 ギャップ分析	4	ギャップ分析は、現状とあるべき姿を比較することで、課題を明らかにする分析手法である。 ギャップとは、現在の姿とあるべき姿の差を意味し、そのギャップを埋めるためには何が足りないか、どこを重点的に改善していけばよいかなど、現状の課題を明らかにする。
102	システム戦略	業務プロセス	データの構造に着目し、現実世界を実体と関連の2つの要素で表現した図はどれか。 1 BPMN 2 E-R図 3 DFD 4 UML	2	E-R図(Entity Relationship Diagram)は、データの構造に着目し、現実世界を実体(Entity)と関連(Relationship)の2つの要素で表現した図である。 実体と実体との関連を、多重度(カーディナリティ)とともに表現する。
103	システム戦略	業務プロセス	OMGで標準化が進められているビジネスプロセスの表記法はどれか。 1 BPMN 2 E-R図 3 DFD 4 UML	1	BPMN(Business Process Model Notation:ビジネスプロセスモデリング表記法)は、OMG(Object Management Group)で標準化が進められているビジネスプロセスの表記法である。 11個の基本要素を用いて、業務の流れを表現する。 人間系の業務プロセスを主な対象としており、表記が簡易なため、ユーザーにわかりやすい。
104	システム戦略	業務プロセス	業務やシステムの動作を、データの流に着目して表現した図はどれか。 1 BPMN 2 E-R図 3 DFD 4 UML	3	DFD(Data Flow Diagram)は、業務やシステムの動作を、データの流に着目して表現した図である。 データフロー(データの流)、プロセス(処理)、データストア(データの蓄積)、源泉/吸収(外部エンティティ)の4つの記号を用いて表現する。
105	システム戦略	業務プロセス	主にオブジェクト指向でシステム開発を行う際に用いられる、標準的な図解技法の集合はどれか。 1 BPMN 2 E-R図 3 DFD 4 UML	4	UML(Unified Modeling Language)は、主にオブジェクト指向でシステム開発を行う際に用いられる、標準的な図解技法の集合である。 クラス図、ユースケース図など、多数の図解が定義されている。

106	システム戦略	業務プロセス	業務の内容やフローを抜本的に再構築するものはどれか。 1 BCP 2 BPM 3 BPO 4 BPR	4	BPR(Business Process Re-engineering:業務改革)は、情報システムを活用するなどして、業務の内容やフローを抜本的に再構築することである。改善は「現状を肯定し劣る部分を是正すること」で、改革は「現状を否定し従来の制度を改めること」である。BPRでは、現状を否定して、抜本的な改革を行う。
107	システム戦略	業務プロセス	業務の内容やフローを継続的に改善するものはどれか。 1 BCP 2 BPM 3 BPO 4 BPR	2	BPM(Business Process Management:ビジネスプロセス管理)は、業務の内容やフローを継続的に改善することである。改善は「現状を肯定し劣る部分を是正すること」で、改革は「現状を否定し従来の制度を改めること」である。BPMでは、現状を肯定して、問題点がある部分だけに絞った改善を行う。
108	システム戦略	業務プロセス	業務の一部を、外部企業に委託するものはどれか。 1 BCP 2 BPM 3 BPO 4 BPR	3	BPO(Business Process Outsourcing)は、業務の一部を外部企業に委託(アウトソーシング)することである。定型化された業務や多くの経験とノウハウを必要とする業務を、専門業者に任せて業務の効率化を図り、自社の中核となる領域に経営資源を集中させることで、競争力の強化を図る。
109	システム戦略	業務プロセス	組織の中で複数人が関わる業務を、あらかじめ処理の流れをルール化したものはどれか。 1 ワークシート 2 ワークステーション 3 ワークフロー 4 ワークライフバランス	3	ワークフローは、組織の中で複数人が関わる業務を、あらかじめ処理の流れをルール化したもの、またはその流れを図式化したものである。手続きや作業といった業務の内容と役割分担、人の間を流通する情報(文書、データ等)を明確化できる。定義したワークフローを客観的に評価することで、問題点や改善策が見えてくる。ワークフローシステムは、ワークフローを自動化するためにつくられたシステムである。
110	システム戦略	業務プロセス	PCを用いて行う一連の作業を自動化できる「ソフトウェアロボット」はどれか。 1 BPR 2 BYOD 3 RPA 4 SNS	3	RPA(Robotic Process Automation)は、事務作業を担うホワイトワーカーが、PCなどを用いて行っている一連の作業を自動化できる「ソフトウェアロボット」のことである。従来の単純なプログラミング言語による自動化とは異なり、ルールエンジンに従って動作したり、画面のアイテムや画像などのオブジェクトを認識したり、自分がPC上で行った操作を自動的に記録してくれる機能を備えたソフトウェアである。
111	システム戦略	業務プロセス	社員がプライベートで使っているスマートフォンやPCなどのデバイスを、仕事でも使うものはどれか。 1 BPR 2 BYOD 3 RPA 4 SNS	2	BYOD(Bring Your Own Device)は、社員がプライベートで使っているスマートフォンやPCなどのデバイスを、仕事でも使うことである。企業から見た時にコストが削減できるメリットがある反面、紛失、盗難、情報漏洩などのセキュリティ上の懸念材料が多いことが、BYODの導入に企業が消極的になる理由となっている。

112	システム戦略	業務プロセス	ICTを活用して、時間や場所の制約を受けずに働く労働形態はどれか。 1 グループウェア 2 シェアリングエコノミー 3 テレワーク 4 ワークフロー	3	テレワークは、「Tele(離れた)」と「Work(働く)」を組み合わせた造語である。 ICTを活用して、時間や場所の制約を受けずに、柔軟に働く労働形態のことである。 自宅で働く「在宅勤務」、移動途中で仕事をする「モバイルワーク」、勤務先以外のサテライトオフィスやレンタルオフィスなどで働く「施設利用型勤
113	システム戦略	業務プロセス	資産や資源を、多くの人と共有し有効利用するものはどれか。 1 グループウェア 2 シェアリングエコノミー 3 テレワーク 4 ワークフロー	2	シェアリングエコノミーは、モノやサービス、場所などの資産や資源を、多くの人と共有し、有効利用することである。 利用していない住宅などの空き部屋を提供する宿泊サービスや、一般の乗用車に同乗して目的地まで送ってもらう「ライドシェア」などがある。
114	システム戦略	業務プロセス	複数の人が情報を共有し、効率よく業務を遂行するためのソフトウェアはどれか。 1 グループウェア 2 シェアリングエコノミー 3 テレワーク 4 ワークフロー	1	グループウェアは、企業や組織内で複数の人が情報を共有し、効率よく業務を遂行するためのソフトウェアである。 大幅なペーパーレスを実現でき、業務のノウハウや企業活動の基礎データを共有できるため、情報伝達の迅速性、正確性が向上する。
115	システム戦略	業務プロセス	ネットワークを介して、音声やビデオを利用することで実現する仮想的な会議はどれか。 1 チャット 2 テレビ会議 3 電子掲示板	2	テレビ会議は、ネットワークを介して、PCやタブレット、スマートフォンなどを用いてメンバー同士が離れていても会議を行うことができるシステムのことである。 時間や場所の制約を受けずに会議を行えることや、「働き方改革」推進に活用できることなどから、近年人気が高まっている。
116	システム戦略	業務プロセス	ネットワークを介して、複数の参加者同士がリアルタイムに文字で会話をするものはどれか。 1 チャット 2 テレビ会議 3 電子掲示板	1	チャットは、ネットワークを介して、複数の参加者同士がリアルタイムに文字で会話をするものである。 電子掲示板との大きな違いは、リアルタイムで会話を行うことである。
117	システム戦略	業務プロセス	Web上に記録する日記の意義があり、簡単に記事を作成して公開できるものはどれか。 1 チャット 2 テレビ会議 3 電子掲示板	4	ブログは、Web上に記録(Log)する日記の意義があり、簡単に記事を作成して公開できる。 公開された記事には、閲覧した人がコメントを残すことができ、双方向のコミュニケーションにも利用できる。
118	システム戦略	業務プロセス	人と人とのつながりを促進・サポートする、コミュニティ型の会員制サービスはどれか。 1 SCM 2 SEO 3 SFA	4	SNS(Social Networking Service)は、友人・知人間のコミュニケーションの場を提供する、コミュニティ型の会員制サービスである。 利用者はサービスに会員登録をすることで利用できるが、密接な人の繋がりを重視して、既存の参加者からの招待がないと参加できないシステムになっているものも存在する。

119	システム戦略	ソリューションビジネス	顧客の経営課題を、ITと付加サービスを通して解決するものはどれか。 1 オンプレミス 2 クラウドコンピューティング 3 ソリューション 4 テキストマイニング	3	ソリューションとは「解決策」を意味する言葉で、顧客の経営課題を、ITと付加サービスを通して解決するものである。 提案を行うコンサルティングとは異なり、問題点の解決策を提示して実現までをサポートする。 ソリューションのなかで、IT技術を使って解決するものを「ITソリューション」と呼ぶ。
120	システム戦略	ソリューションビジネス	自社の中で情報システムを保有し、自社内の設備によって運用する形態はどれか。 1 オンプレミス 2 クラウドコンピューティング 3 ソリューション 4 テキストマイニング	1	オンプレミス(On-Premises)とは、自社の中で情報システムを保有し、自社内の設備によって運用する形態のことである。 導入のための初期コストや運用・管理コストが高いが、自社専用のシステムが構築できるため、自社の業務との親和性は高い。
121	システム戦略	ソリューションビジネス	システムの企画立案から構築、運用までの工程を、一括して請け負い提供するものはどれか。 1 ASP 2 BI 3 SI 4 SOA	3	SI(System Integration)は、システムの企画立案から構築、運用までの工程を、一括して請け負い提供するサービスのことである。 システム開発の経験がない企業であっても、SIを利用することで複数ベンダの製品を統合した最適なシステム開発が実現できる。
122	システム戦略	ソリューションビジネス	インターネットを介してソフトウェアを配信する事業者はどれか。 1 ASP 2 BI 3 SI 4 SOA	1	ASP(Application Service Provider)は、インターネットを介してソフトウェアを配信する事業者のことである。 利用料金は、ソフトウェアを利用した時間など従量制で課金されることが多い。 ソフトウェアのインストール作業やバージョン管理が必要ないため、運用コストの削減ができる。
123	システム戦略	ソリューションビジネス	ソフトウェアの機能を独立したサービスという単位で実装し、それらを組み合わせてシステムを作り上げるものはどれか。 1 ASP 2 BI 3 SI 4 SOA	4	SOA(Service Oriented Architecture: サービス指向アーキテクチャ)は、ソフトウェアの機能を独立したサービスという単位で実装し、それらを組み合わせてシステムを作り上げることである。 「複雑化するIT環境をいかに統合するか」という課題に対する解決策として浮上してきている。
124	システム戦略	ソリューションビジネス	組織の内部で賄っていた業務を、外部会社に委託するものはどれか。 1 アウトソーシング 2 クラウドコンピューティング 3 ハウジング 4 マルチベンダ	1	アウトソーシングは、組織の内部で賄っていた業務を、外部会社に委託することである。 外部(Out)と経営資源(Source)を組み合わせた造語で、外部委託ともいう。 自社の限られた経営資源を有効に活用することを目的とする。

125	システム戦略	ソリューションビジネス	異なる製造元の製品を組み合わせて使うものはどれか。 1 アウトソーシング 2 クラウドコンピューティング 3 ハウジング 4 マルチベンダ	4	マルチベンダは、異なる製造元の製品を組み合わせて使うことである。自社でシステム開発を行うと、自社にノウハウのある特定の製造元に偏りがちであるが、SIを利用することで、容易にマルチベンダを実現できる。
126	システム戦略	ソリューションビジネス	人件費などの経費が安い海外のサービス提供者に、自社の業務の一部を委託するものはどれか。 1 オフショアアウトソーシング 2 クラウドコンピューティング 3 ハウジング 4 マルチベンダ	1	オフショアアウトソーシングは、アウトソーシングの一種で、比較的人件費の安い海外のサービス提供者に、自社の業務の一部を委託する形態のことである。 オフショアとは、「海外で」という意味である。 大幅なコスト削減や日本国内の人材不足を解消できるメリットがある反面、コミュニケーションギャップが発生するリスクや時差や休日など生活のリズムに違いがあるといったデメリットがある。
127	システム戦略	ソリューションビジネス	自社でサーバ等の設備を用意して、通信回線や電源などの環境が整った事業者に預けて利用するものはどれか。 1 オンプレミス 2 クラウドコンピューティング 3 ハウジングサービス 4 ホスティングサービス	3	ハウジングサービスは、アウトソーシングの一種で、自社でサーバや通信機器などの設備を用意して、通信回線や電源などの環境が整った事業者に預けて利用することである。 自社で設備を用意するので、サーバの機種やOSの種類、セキュリティ対策などを自社の要求に合わせて自由に構成できる。
128	システム戦略	ソリューションビジネス	事業者が所有するサーバや通信機器などの設備を、ネットワーク経由で借り受けて利用するものはどれか。 1 オンプレミス 2 クラウドコンピューティング 3 ハウジングサービス 4 ホスティングサービス	4	ホスティングサービスは、アウトソーシングの一種で、事業者が所有するサーバや通信機器などの設備を、ネットワーク経由で借り受けて利用することである。 「レンタルサーバサービス」という場合もある。 自前で環境を整備したり、専門技術者を確保する必要がなくなり、コストや運用の手間を大幅に削減できる。
129	システム戦略	ソリューションビジネス	端末のデスクトップ環境を、インターネットを経由して提供するサービスはどれか。 1 DaaS 2 IaaS 3 PaaS 4 SaaS	1	DaaS(Desktop as a Service)は、端末のデスクトップ環境を、インターネットを経由して提供するサービスのことであり、OSやアプリケーションソフトウェアなどは、すべてサーバ上で動作するため、利用者の端末には画面を表示する機能と、キーボードやマウスなどの入力に必要な機能だけがあればよい。
130	システム戦略	ソリューションビジネス	ハードウェアやネットワークといったインフラ環境を、インターネットを経由して提供するサービスはどれか。 1 DaaS 2 IaaS 3 PaaS 4 SaaS	2	IaaS(Infrastructure as a Service)は、システムの基盤となるサーバやストレージ、ネットワークなどを、インターネットを経由して提供するサービスのことであり、仮想化と呼ばれる技術を使って、クラウドサービス事業者のデータセンター上で仮想的なコンピュータを動作させ、それをネットワーク経由で利用者に提供する。 仮想マシンのCPUの種類やメモリ容量、OSの種類などを自由に指定でき

131	システム戦略	ソリューションビジネス	OSやミドルウェアのような、アプリケーションの実行環境を、インターネットを経由して提供するサービスはどれか。 1 DaaS 2 IaaS 3 PaaS 4 SaaS	3	PaaS(Platform as a Service)は、OSやミドルウェア、ハードウェア、ネットワークなどのアプリケーション実行環境を、インターネットを経由して提供するサービスのことである。 開発期間やコストを削減でき、運用の手間も減らせる一方で、既に作りこまれた環境を利用することになるため、一から自社で環境を構築することに比べると自由度は低くなる。
132	システム戦略	ソリューションビジネス	アプリケーションソフトウェアの機能を、インターネットを経由して提供するサービスはどれか。 1 DaaS 2 IaaS 3 PaaS	4	SaaS(Software as a Service)は、メールや会計ソフトなどのアプリケーションソフトウェアの機能を、インターネットを経由して提供するサービスのことである。 利用者は、自前でアプリケーションを開発する必要がないので、開発、運用の手間やコストが削減できる。 半面、既に完成されているサービスを利用する形態のため、利用者の都
133	システム戦略	ソリューションビジネス	新しい概念や技術などが実現可能かどうかを調べて証明するものはどれか。 1 IoT 2 PoC 3 PoE 4 SoR	2	PoC(Proof of Concept: 概念実証、実証実験)は、新しい概念や技術などが実現可能かどうかを、実際に調べて証明することである。 新たなアイデアや企画、構想に対し、それが実現可能なのか、目的とする効果や効能が得られるのか、市場に受け入れられそうなのか、といったことを、本格的にプロジェクトを開始する前に検証する。 単に「机上で検討を重ねる」のではなく、検証のための「ものを作り上げ」「実際に使ってもらおう」という、実験的なアプローチを行う点が重要である。
134	システム戦略	システム活用促進・評価	企業内の膨大なデータを蓄積し分析することで、企業の迅速な意思決定に活用するものはどれか。 1 ASP 2 BI 3 SI 4 SOA	2	BI(Business Intelligence)は、企業内の膨大なデータを蓄積し、分類、加工、分析をすることで、企業の迅速な意思決定に活用することである。 従来は専門スキルを持つ人だけが情報の収集や分析を行っていたが、BIツールを利用することで、専門家でなくとも必要なデータを分析し情報を活用することができる。
135	システム戦略	システム活用促進・評価	大量の文章データから、有益な情報を取り出すものはどれか。 1 オンプレミス 2 クラウドコンピューティング 3 ソリューション 4 テキストマイニング	4	テキストマイニングは、大量の文章データ(テキストデータ)から、有益な情報を取り出すことを総称したものである。 アンケートの自由記述や、コールセンターへの問い合わせ内容、TwitterなどSNSでのクチコミ分析といった分野で活用されている。
136	システム戦略	システム活用促進・評価	情報リテラシのうち、情報を取捨選択する能力を示すものはどれか。 1 コンピュータリテラシ 2 情報基礎リテラシ 3 デジタルトランスフォーメーション 4 ネットワークリテラシ	2	情報基礎リテラシは、情報を取捨選択し、情報を正しく使うための能力のことである。 具体的には、「情報を探し出す能力」、「情報を精査する能力」、「情報を使う能力」の3つの能力を示す。

137	システム戦略	システム活用促進・評価	<p>情報リテラシのうち、パソコンの操作に関わる能力を示すものはどれか。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 コンピュータリテラシ</li> <li>2 情報基礎リテラシ</li> <li>3 デジタルトランスフォーメーション</li> <li>4 ネットワークリテラシ</li> </ol>	1	<p>コンピュータリテラシは、パソコンの操作に関わる能力のことである。コンピュータを操作する技術、あるいは知識を意味する。多くの現場でWord、Excel、PowerPointといったOfficeツールを使用する能力が要求される。専門的な現場では、特定のプログラミング言語を読み書きする能力が要求される。</p>
138	システム戦略	システム活用促進・評価	<p>情報リテラシのうち、インターネットの概念に関わる能力を示すものはどれか。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 コンピュータリテラシ</li> <li>2 情報基礎リテラシ</li> <li>3 デジタルトランスフォーメーション</li> <li>4 ネットワークリテラシ</li> </ol>	4	<p>ネットワークリテラシは、インターネットの概念に関わる能力のことである。ネットワークやセキュリティに関する技術的な知識を理解する能力を示す。近年では、「インターネットの正しい使い方」や、「インターネットを利用する上でのモラル」といった意味でも用いられる。</p>
139	システム戦略	システム活用促進・評価	<p>「ITの浸透が、人々の生活をあらゆる面でもより良い方向に変化させる」ことを示すものはどれか。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 コンピュータリテラシ</li> <li>2 情報基礎リテラシ</li> <li>3 デジタルトランスフォーメーション</li> <li>4 ネットワークリテラシ</li> </ol>	3	<p>デジタルトランスフォーメーション(Digital Transformation:DX)は、2004年にスウェーデンのウメオ大学のエリック・ストルターマン教授が提唱した概念で、「ITの浸透が、人々の生活をあらゆる面でもより良い方向に変化させる」ことを示すものである。デジタルシフトも同様の意味である。ビジネス用語としては定義・解釈が多義的ではあるものの、おおむね「企業がテクノロジーを利用して事業の業績や対象範囲を根底から変化させる」という意味で用いられる。</p>
140	システム戦略	システム活用促進・評価	<p>人が楽しんでプレイできる遊びや競争といった要素を応用し、顧客やユーザとの関係構築に利用するものはどれか。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 ゲーミフィケーション</li> <li>2 デジタルディバイド</li> <li>3 テキストマイニング</li> <li>4 ビッグデータ</li> </ol>	1	<p>ゲーミフィケーションは、人が楽しんでプレイできる遊びや競争といったゲーム的な要素や考え方をゲーム以外の分野に応用し、顧客やユーザとの関係構築に利用しようとする取り組みのことである。求人や新人研修、スタッフの仕事のパフォーマンス向上のために社内を導入したり、顧客のロイヤルティを高めたり、マーケティングで活用するケースもある。</p>
141	システム戦略	システム活用促進・評価	<p>IT技術やIT知識の有無によって生じる格差はどれか。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 ゲーミフィケーション</li> <li>2 デジタルディバイド</li> <li>3 テキストマイニング</li> <li>4 ビッグデータ</li> </ol>	2	<p>デジタルディバイド(情報格差)は、IT技術やIT知識の有無によって生じる格差のことである。コンピュータリテラシの十分でない人や、十分なIT環境を入手できていない人が、情報システムの恩恵を十分に受けられず、社会的、経済的に不利益を受ける状況になることを示す。</p>
142	システム戦略	システム活用促進・評価	<p>分析により経済的価値を生み出せる、あらゆる形式で増え続ける大量のデータはどれか。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 ゲーミフィケーション</li> <li>2 デジタルディバイド</li> <li>3 テキストマイニング</li> </ol>	4	<p>ビッグデータは、分析により経済的価値を生み出せる、あらゆる形式で増え続ける大量のデータのことである。インターネットが普及し、あらゆるものがデータ化できる時代になったこと、高性能なサーバが安価に利用できるようになったことで、少し前までは活用できなかったような多様な大量データが、価値あるデータとして分析して活用できるようになった。</p>

143	システム戦略	システム活用促進・評価	ビッグデータの特徴の「4つのV」のうち、容量を示すものはどれか。 1 Value 2 Variety 3 Velocity 4 Volume	4	ビッグデータの特徴の「4つのV」のうち、容量を示すものは「Volume」である。 現在の基準は、数テラバイトから数ペタバイト程度のデータ量である。
144	システム戦略	システム活用促進・評価	ビッグデータの特徴の「4つのV」のうち、種類を示すものはどれか。 1 Value 2 Variety 3 Velocity 4 Volume	2	ビッグデータの特徴の「4つのV」のうち、種類を示すものは「Variety」である。 音声、動画、画像、センサ情報などの、ありとあらゆる形式でのデータが含まれる。
145	システム戦略	システム活用促進・評価	ビッグデータの特徴の「4つのV」のうち、頻度・スピードを示すものはどれか。 1 Value 2 Variety 3 Velocity 4 Volume	3	ビッグデータの特徴の「4つのV」のうち、頻度・スピードを示すものは「Velocity」である。 交通系ICカードのデータ、SNSなど、リアルタイムで高速に増え続けるデータが格納されている。
146	システム戦略	システム活用促進・評価	ビッグデータの特徴の「4つのV」のうち、価値を示すものはどれか。 1 Value 2 Variety 3 Velocity 4 Volume	1	ビッグデータの特徴の「4つのV」のうち、価値を示すものは「Value」である。 分析することで経済的価値が生まれる。
147	システム戦略	システム化計画	共通フレーム2013の中で、経営課題を解決するための新たな業務とシステムの構想を立案するプロセスはどれか。 1 運用プロセス 2 開発プロセス 3 企画プロセス 4 要件定義プロセス	3	共通フレーム2013(SLCP-JCF2013: Software Life Cycle Process 2013)とは、ソフトウェアのライフサイクルについて用いる汎用的な用語や各工程の内容について統一した定義を行ったものである。 共通フレーム2013の中で、企画プロセスが行う活動は、「システム化構想:経営課題を解決するための新たな業務とシステムの構想を立案する」、「システム化計画:システム化構想を具現化するための、システム化計画及びプロジェクト計画を具体化し、利害関係者の合意を得る」である。
148	システム戦略	システム化計画	開発スケジュールの決定に関わるべき部門として、最も適切なものはどれか。 1 ユーザ企業のトップだけが関わる 2 業務部門だけが関わる 3 システム開発部門だけが関わる 4 システム開発部門と業務部門が関わる	4	開発スケジュールの決定には、システム開発部門と業務部門が、どちらも同じゴールである経営戦略に沿ったシステムを開発する意識を共有することで、「使える」システムが構築できる。 開発スケジュールは、経営戦略に基づいてシステムが必要になる時期を最終目標とし、システムの構築順序、現行業務からの移行、教育、訓練を踏まえて検討する。
149	システム戦略	システム化計画	システムを開発する経費に見合った利益が得られるかどうかを示すものはどれか。 1 体制 2 費用対効果 3 要件定義 4 リスク分析	2	費用対効果は、システムの開発、運用にかかる費用に対して、効率化や利益などの効果が十分に得られるかどうかを示すものである。 費用対効果が低い場合は、システム化そのものを再検討する必要がある。



150	システム戦略	システム化計画	システム化におけるリスクの種類うち、IPアドレスの設定ミスが該当するものはどれか。 1 ソフトウェア障害 2 性能障害 3 データ障害	4	ネットワーク障害は、システム化におけるリスクのうち、ネットワーク機器に関連する障害やネットワークの設定に関連する障害のことである。ケーブルの断線、ネットワーク機器の設定ミス、ネットワーク機器の故障、IPアドレスなどの設定ミス、制約の違反などが挙げられる。
151	システム戦略	要件定義	要件定義で検討する項目のうち、新しい業務のあり方や運用をまとめた上で、業務上実現すべき要件を明確にするものはどれか。 1 業務要件定義 2 機能要件定義 3 非機能要件定義	1	要件定義で検討する項目のうち、業務要件定義は、新しい業務のあり方や運用をまとめた上で、業務上実現すべき要件を明確にするものである。現状分析で整理された改善の方向性を念頭に置き、現行の業務プロセスを、あるべき業務プロセスとして描きなおしていく。
152	システム戦略	要件定義	要件定義で検討する項目のうち、必要なシステムの動作や処理内容を定義するものはどれか。 1 業務要件定義 2 機能要件定義 3 非機能要件定義 4 リスク分析	2	要件定義で検討する項目のうち、機能要件定義は、業務要件を実現するうえで必要なシステムの動作や処理内容を定義するものである。業務を構成する機能間の情報の流れを明確にし、対象となる人の作業及びシステム機能の実現範囲を定義する。
153	システム戦略	要件定義	要件定義で検討する項目のうち、処理時間やセキュリティ対策など、システムを設計するうえで考慮すべき、機能以外の要件を定義するものはどれか。 1 業務要件定義 2 機能要件定義 3 非機能要件定義 4 リスク分析	3	要件定義で検討する項目のうち、非機能要件定義は、処理時間やセキュリティ対策など、システムを設計するうえで考慮すべき、機能以外の要件を定義するものである。利用者から、非機能要件に対して明確な要件が提示されることは少ないため、検討が不十分なままに進めてしまうと、運用後のトラブルにつながる懸念がある。
154	システム戦略	要件定義	非機能要件の設計項目のうち、システムサービスを継続的に利用可能とするための要求はどれか。 1 運用性 2 移行性 3 可用性 4 セキュリティ	3	非機能要件の設計項目のうち、可用性は、システムサービスを継続的に利用可能とするための要求のことである。機器の冗長化やバックアップセンターの設置などで対応する。
155	システム戦略	要件定義	非機能要件の設計項目のうち、情報システムの安全性の確保に関する要求はどれか。 1 運用性 2 移行性 3 可用性	4	非機能要件の設計項目のうち、セキュリティは、情報システムの安全性の確保に関する要求である。不正の追跡、監視、検知などで対応する。

156	システム戦略	調達計画・実施	環境マネジメント規格はどれか。 1 ISO 9000シリーズ 2 ISO 14000シリーズ 3 ISO 22000シリーズ 4 ISO 27000シリーズ	2	ISO 14000シリーズは、ISO(International Organization for Standardization:国際標準化機構)の定めた環境マネジメント規格である。組織が環境保全に対して適切な管理を行っているかを認証するための規格である。
157	システム戦略	調達計画・実施	発注先候補となる企業に対して、情報提供を依頼する文書はどれか。 1 RFC 2 RFI 3 RFP 4 RFQ	2	RFI(Request For Information:情報提供依頼書)は、発注先候補となる企業に対して、情報提供を依頼する文書のことである。発注先候補となる企業の会社の基本情報、技術情報、製品情報などの提供を求める。情報提供される情報として、システム化に必要なハードウェアやソフトウェアなどの技術情報、類似の開発事例の情報、一般的に必要とされる費用などがある。
158	システム戦略	調達計画・実施	発注先候補となる企業に対して、具体的なシステム提案を依頼する文書はどれか。 1 RFC 2 RFI 3 RFP 4 RFQ	3	RFP(Request For Proposal:提案依頼書)は、発注先候補となる企業に対して、具体的なシステム提案を依頼する文書のことである。システム概要、目的、必要な機能、求められるシステム要件、契約事項などの具体的なシステムの要件を盛り込んだ提案を依頼する。
159	システム戦略	調達計画・実施	発注先候補となる企業に対して、正式な見積もりを依頼する文書はどれか。 1 RFC 2 RFI 3 RFP 4 RFQ	4	RFQ(Request For Quotation:見積り依頼書)は、発注先候補となる企業に対して、正式な見積もりを依頼する文書のことである。一般的には、見積書は提案書の作成時に同時に作成されるが、納入業者を選定してから、改めてRFQを提示して、正式な見積もりを依頼する場合がある。
160	システム戦略	調達計画・実施	企業などが、原材料、部品、資材、サービスなどをサプライヤーから調達する際に優先的に環境負荷の小さいものを選ぶ取り組みはどれか。 1 競争入札 2 グリーン調達 3 随意契約 4 電子入札	2	グリーン調達は、企業などが、原材料、部品、資材、サービスなどをサプライヤーから調達する際に優先的に環境負荷の小さいものを選ぶ取り組みのことである。環境に配慮せず、環境に悪影響のある活動をしている場合には、世間の目も厳しくなり、競争力の低下につながる。